



2017年度第1四半期 決算補足資料

2017年7月24日

株式会社イーブックイニシアティブジャパン



証券コード：3658

当社グループは、以下2つの事業により構成されています。

① 電子書籍事業

電子書籍配信

- 自社配信サイトでの電子書籍販売
- 書籍の電子化受託、電子書籍配信プラットフォームの受託開発、eBook図書券の販売 等

電子書籍提供

- パートナー企業の電子書店運営受託、電子書籍配信システム提供、書籍データ提供

注: 当期より、「Yahoo!ブックストア」の店舗運営業務受託が含まれています。

② クロスメディア事業

- 紙書籍、CD、DVD等のオンライン販売
- 各種システム開発受託 等

注: 前期には前期中に売却した連結子会社の事業が含まれておりましたが、当期には含まれておりません。

1 第1四半期 業績

2 第1四半期 施策・トピックス

3 今後の計画

4 参考資料

■ 大幅増収を達成し、経常黒字拡大

- ✓ 連結売上高 26.6億円 (前年同期:22.2億円、前年同期比:+20.0%*1)
- ✓ 連結経常利益 0.3億円 (前年同期:△0.5億円)

■ ヤフー株式会社との提携が順調に進捗

- ✓ 2017年4月より「Yahoo!ブックストア」の店舗運營業務の受託開始(2017/4)
- ✓ 当社のオンライン書店(紙書籍・DVDを販売)が、「Yahoo!ショッピング(本、雑誌、コミック部門)」にて、2017年5月度の月間ベストストア1位・2位を独占(2017/7)

■ 電子書籍配信強化のための各種取組みを積極推進

- ✓ 無料の本コーナーを全面リニューアルし、当社でしか読めないマンガも含め、常時2,200冊以上を提供する「最強無料まんが」をスタート (2017/6)
- ✓ 期間限定での「全巻無料読み放題」を実施(2017/4~7)

*1: 2016年度中の決算期変更により、2016年度1Q=2016年2月~4月、2017年度1Q=2017年4月~6月 となります。

1Q業績 | 第1四半期 業績ハイライト

(単位：百万円)

	2017年度1Q (連結)	前年同期比*1 (2016年度1Q比)	前四半期比*2 (2016年度5Q比)
連結売上高	2,668	+20.0%	+46.4%
電子書籍事業	1,689	+34.8%	+60.3%
電子書籍配信	1,468	+24.1%	+45.8%
電子書籍提供	221	+215.2%	+375.1%
クロスメディア事業	979	+1.0%	+27.2%
連結経常利益	36	-	-

注:当期より、「Yahoo!ブックストア」の店舗運營業務受託が含まれています。

注:当期より、前期中に売却した連結子会社の事業は含まれていません。

売上高は、電子書籍配信の増収、Yahoo!ブックストアの受託開始等により、前年同期比20.0%増。経常利益は、36百万円で着地。

*1: 2016年度中の決算期変更により、2016年度1Q=2016年2月～4月、2017年度1Q=2017年4月～6月 となります。

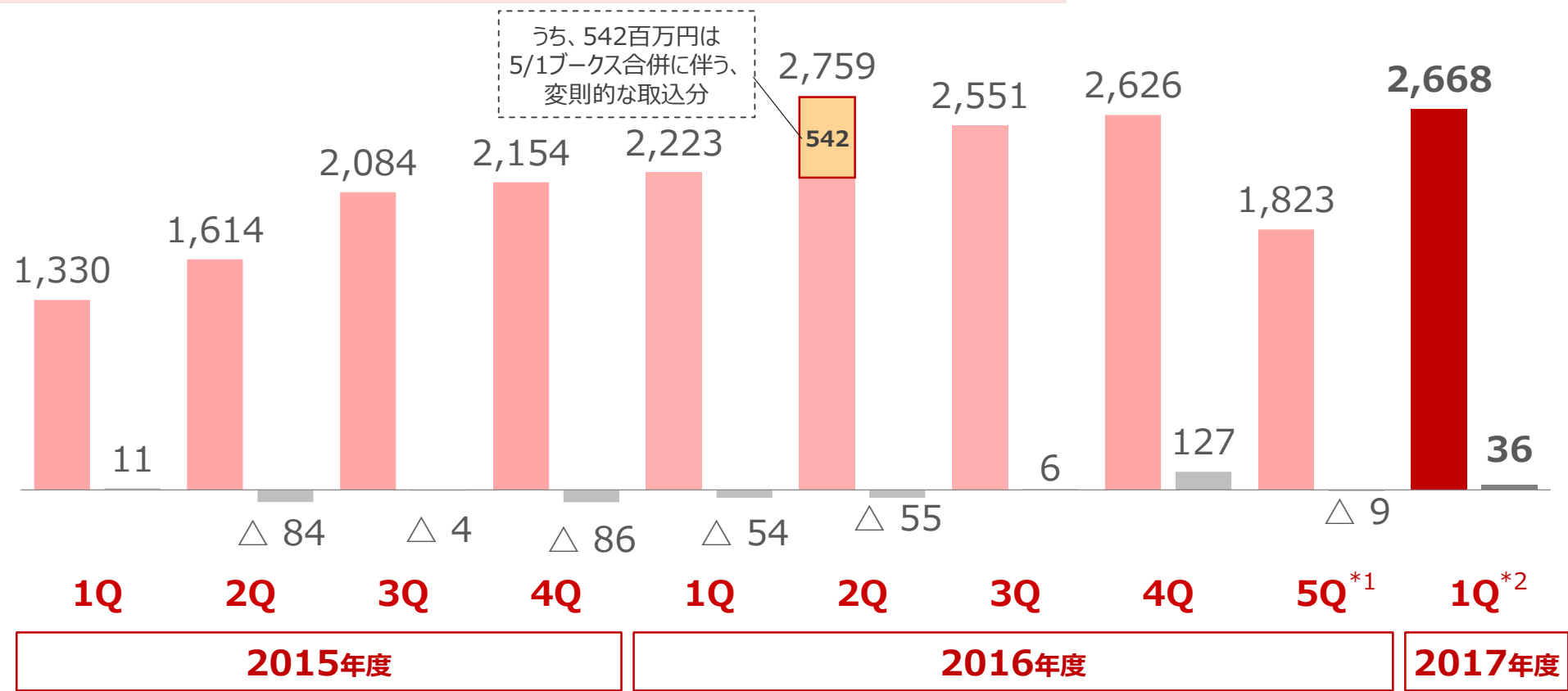
*2: 同決算期変更により、2016年度5Q=2017年2月～3月の2ヵ月間 となります。

1 1Q業績 | 売上高・経常利益

(単位：百万円)

■ 連結売上高 ■ 連結経常利益

売上高は、増収基調を継続し、前年同期比+20.0%。
 経常利益は、36百万円で着地。

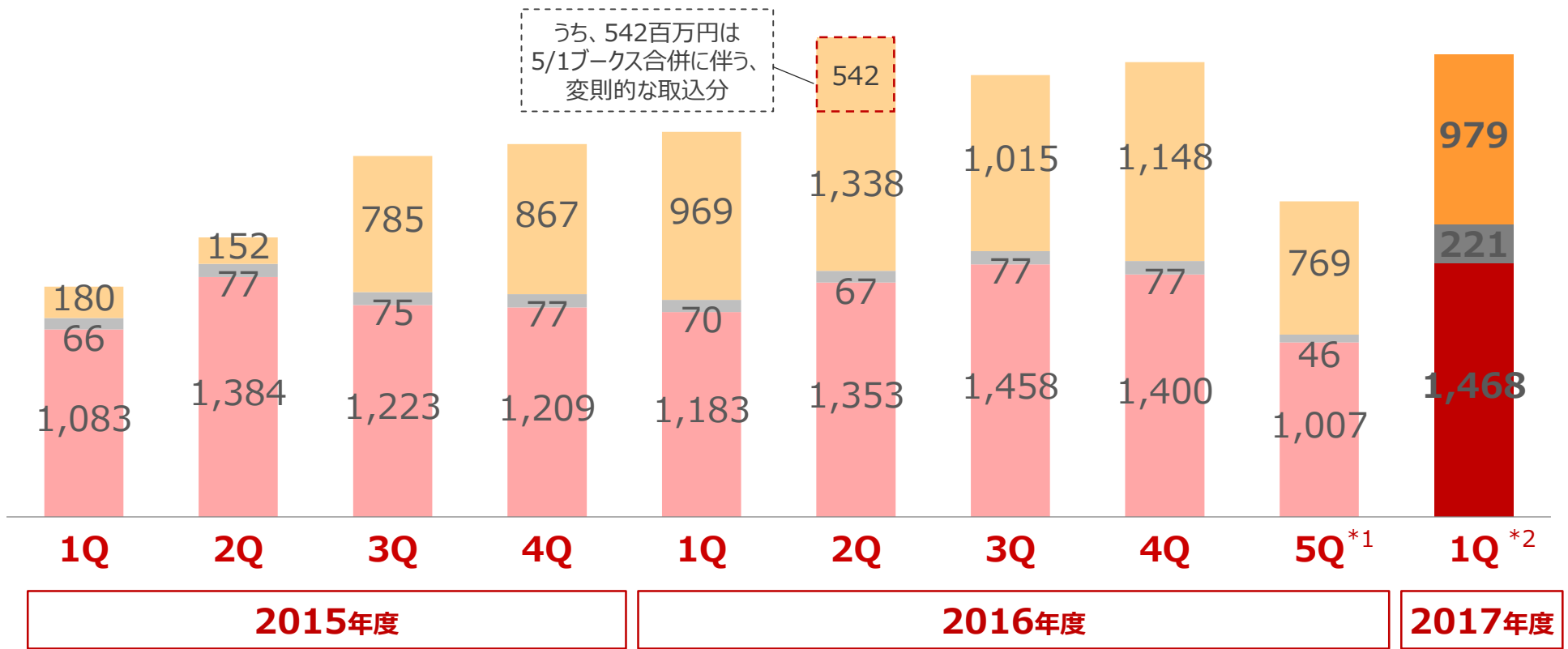


*1: 2016年度中の決算期変更により、2016年度5Q=2017年2月～3月の2ヵ月間 となります。
 *2: 同決算期変更により、2016年度1Q=2016年2月～4月、2017年度1Q=2017年4月～6月 となります。

(単位：百万円)

■ 電子書籍事業(配信) ■ 電子書籍事業(提供) ■ クロスメディア事業

配信はポイントキャンペーン等の効果で、提供はYahoo!ブックストア受託開始で共に過去最高。クロスメディアは子会社売却の影響あるも、紙・DVD販売の好調継続。

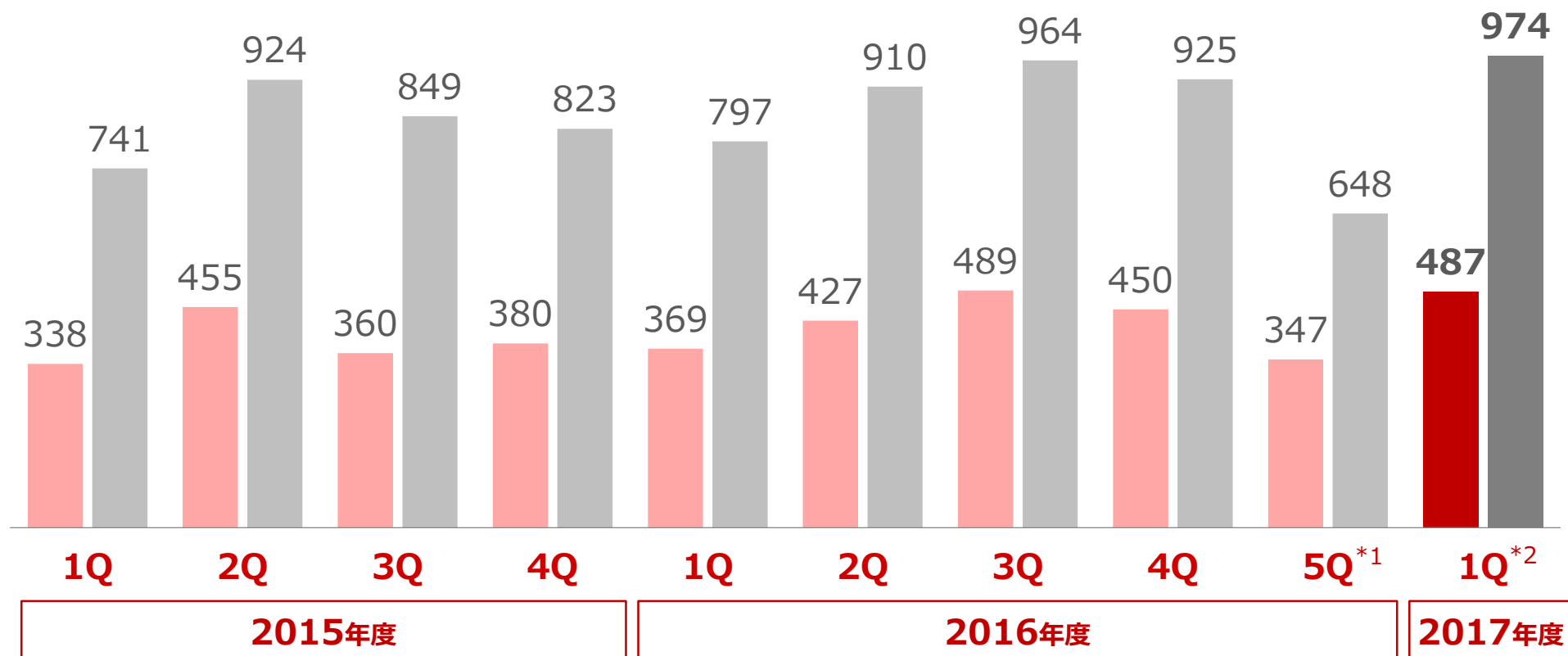


*1: 2016年度中の決算期変更により、2016年度5Q=2017年2月～3月の2ヵ月間 となります。
 *2: 同決算期変更により、2016年度1Q=2016年2月～4月、2017年度1Q=2017年4月～6月 となります。

(単位：百万円)

■パソコン ■モバイル（スマートフォン+タブレット）

パソコン：モバイル = 1 : 2 の傾向が定着



*1: 2016年度中の決算期変更により、2016年度5Q = 2017年2月～3月の2ヵ月間 となります。

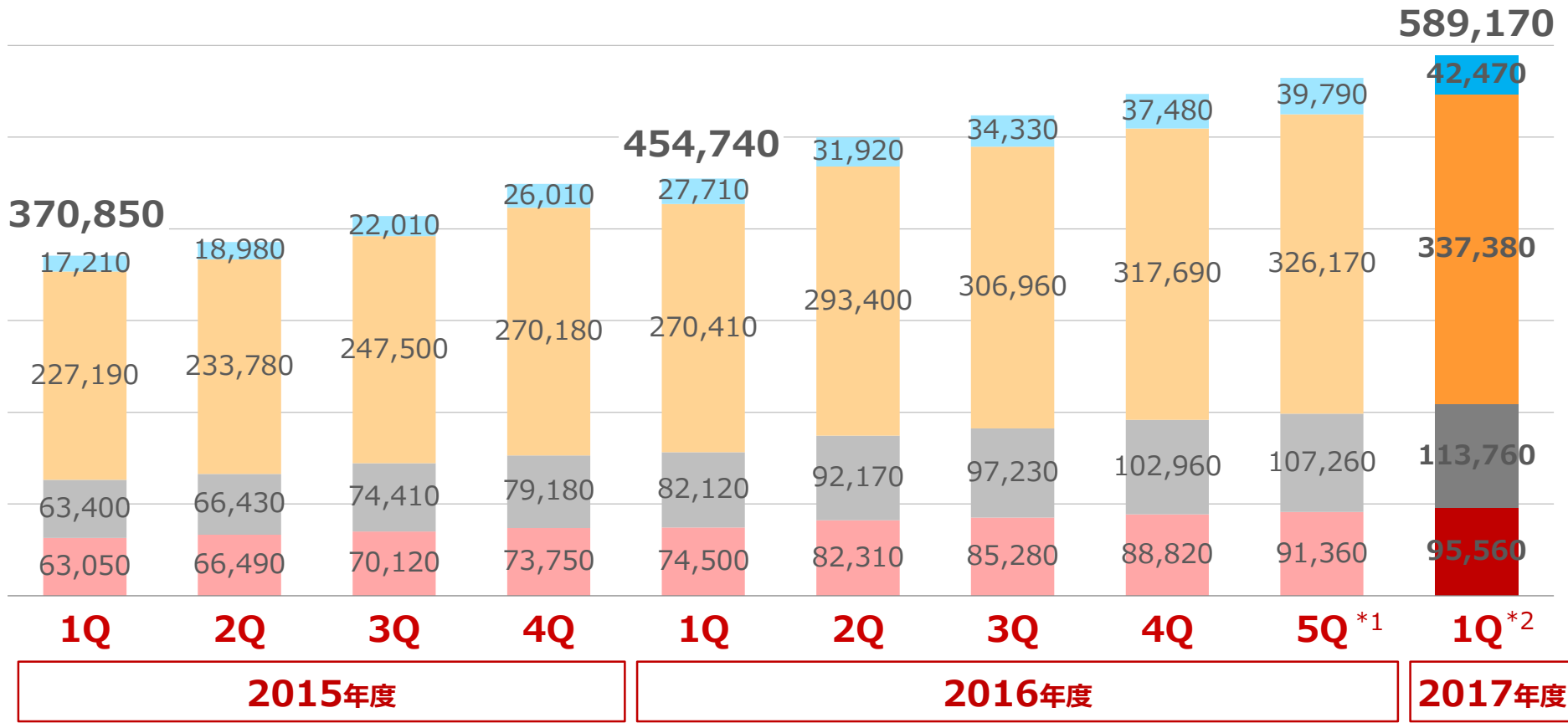
*2: 同決算期変更により、2016年度1Q = 2016年2月～4月、2017年度1Q = 2017年4月～6月 となります。

1Q業績 | ジャンル別取扱冊数

(単位：冊)

■ 男性マンガ ■ 女性マンガ ■ 総合図書 ■ その他

取扱冊数58.9万冊。マンガを中心にラインナップを順調に拡大



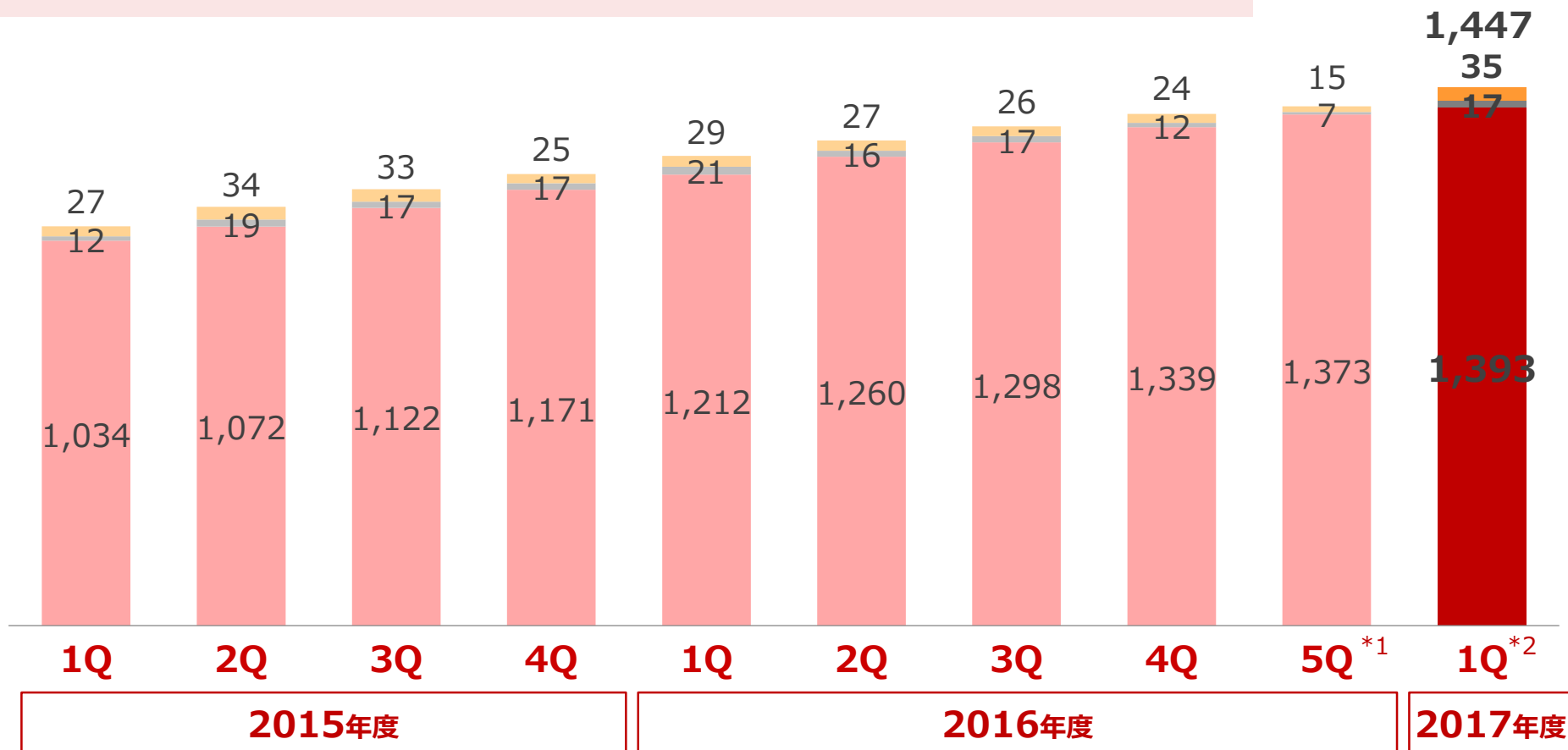
*1: 2016年度中の決算期変更により、2016年度5Q = 2017年2月～3月の2ヵ月間 となります。

*2: 同決算期変更により、2016年度1Q = 2016年2月～4月、2017年度1Q = 2017年4月～6月 となります。

(単位：千人)

■ 既存会員 ■ パソコン新規会員 ■ モバイル新規会員

「全巻無料読み放題」企画等で新規会員が堅調に増加し、現在144万人。



*1: 2016年度中の決算期変更により、2016年度5Q=2017年2月～3月の2ヵ月間 となります。

*2: 同決算期変更により、2016年度1Q=2016年2月～4月、2017年度1Q=2017年4月～6月 となります。

（単位：百万円）

	2016年度1Q (連結)	2017年度1Q*1 (連結)	増減率	備考
売上高	2,223	2,668	+20.0%	
電子書籍事業	1,253	1,689	+34.8%	自社配信伸長に加え、ヤフー受託開始
クロスメディア事業	969	979	+1.0%	子会社売却により減も、紙・DVD販売好調
売上原価	1,447	1,708	+18.0%	
著作権使用料	682	851	+24.7%	売上増に伴う増加
販売費及び一般管理費	831	927	+11.5%	
支払手数料	82	86	+5.0%	売上増に伴う増加の一方、単価は低減
人件費（賞与を除く）	289	208	△28.1%	子会社売却による減
広告宣伝費	79	86	+9.0%	
ポイント引当金繰入額	58	180	+210.0 %	ポイント施策による増加
営業利益	△55	33	—	
経常利益	△54	36	—	
税引前当期純利益	△54	36	—	
親会社株主に帰属する四半期純利益	△54	26	—	

*1: 2016年度中の決算期変更により、2016年度1Q=2016年2月～4月、2017年度1Q=2017年4月～6月 となります。

(単位：百万円)

	2016年度5Q*1 (連結)	2017年度1Q (連結)	増減率	備考
資産	4,920	4,803	△2.4%	
現金及び預金	2,690	2,561	△4.8%	著作権使用料の支払サイクルの影響
売掛金	978	1,040	+6.3%	
負債	1,917	1,770	△7.7%	
買掛金	1,203	1,095	△9.0%	著作権使用料の支払サイクルの影響
純資産	3,002	3,032	+1.0%	
資本金	845	848	+0.2%	
資本剰余金	1,132	1,134	+0.2%	
利益剰余金	986	1,013	+2.7%	増益の影響
自己株式	0	0	—	

*1: 2016年度中の決算期変更により、2016年度5Q=2017年2月～3月の2ヵ月間 となります。

(単位：百万円)

	2017年度1Q 累計実績 (連結)	2017年度 予想 (連結)	進捗率
売上高	2,668	10,500	25.4%
営業利益	33	200	16.6%
営業利益率	1.2%	1.9%	—
経常利益	36	200	18.2%
経常利益率	1.4%	1.9%	—
税引前当期純利益	36	200	18.2%
親会社株主に帰属する当期純利益	26	125	21.6%

**これまでのところ、予想の範囲内で順調に進捗しています。
引き続き状況を慎重に見極めつつ、費用投下等をコントロールしていきます。**

1 第1四半期 業績

2 第1四半期 施策・トピックス

3 今後の計画

4 参考資料

2 1Q施策・トピックス | ヤフー株式会社と資本業務提携が進展中

2016年9月にヤフーによる連結子会社化が完了し、業務提携が順次進展中



資本提携

- ① TOB + 第三者割当増資により、ヤフーが当社株式の44.6%を取得
- ② 当社取締役の過半数をヤフーが指名(10/24臨時株主総会で選任)
- ③ 連結子会社化後も、東証一部における上場は維持

業務提携

- ① 電子コミック分野での国内シェアNo.1を目指す
- ② 電子書籍事業における著作権調達、マーケティング、システム開発等で連携
- ③ 電子書籍事業の将来的な統合を検討

※本資本業務提携の詳細につきましては、2016年6月9日及び2016年8月30日公表のプレスリリースをご参照ください。

※本資本業務提携による2017年度以降の業績への影響は現在精査中です。改めて開示が必要な場合には、すみやかにお知らせいたします。

2 1Q施策・トピックス | 「Yahoo!ブックストア」の店舗運営業務を受託開始

資本業務提携契約に基づき、ヤフーの電子書籍ストア「Yahoo!ブックストア」の運営業務受託を開始
(2017年4月～)

YAHOO! ブックストア JAPAN

ヤフーが運営する電子書籍ストア



ストア運営業務を 当社が受託 (2017年4月～)

- ・マーケティング業務
- ・システム開発業務
- ・出版社との取引業務 等

2 1Q施策・トピックス | 「Yahoo!ショッピング」月間ベストストア独占

当社が運営するオンライン書店(紙書籍・DVDを販売)が、「Yahoo!ショッピング(本、雑誌、コミック部門)」にて、2017年5月度の月間ベストストア1位・2位を独占(2017年7月)

YAHOO! ショッピング
JAPAN

月間ベストストア 「本、雑誌コミック部門」
2017年5月度



1位

「BOOKFANプレミアム」

Yahoo! JAPAN group
BOOKFAN
プレミアム



2位

「オンライン書店boox
@Yahoo!店」

boox
Yahoo!店

2 1Q施策・トピックス | 無料まんがコーナーを全面リニューアル

「今週の無料の本」コーナーを全面リニューアルし、当社でしか読めないマンガも含め、常時2,200冊以上をラインナップとして提供する「最強無料まんが」をスタート(2017年6月)

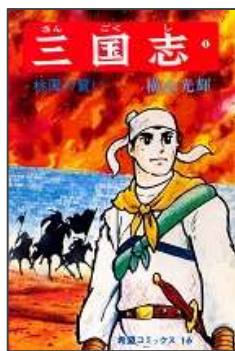
「最強無料まんが」の特長

- **ボリューム** : 常時2,200冊以上のラインナップをご用意
- **選びやすさ** : すきま時間別やキーワード別にマンガが選べる
- **ラインナップ** : eBookJapanでしか読めない無料マンガが多数



2 1Q施策・トピックス | 著名作品の「全巻無料読み放題」を実施

期間限定での「全巻無料読み放題」企画をシリーズで実施し、著名作品に手軽に触れていただく機会を提供(2017年4月～7月)



『三国志』
全60巻
4/21(金)～23(日)



『魁!男塾』
全34巻
5/13(土)



『賭博黙示録カイジ』
全13巻
5/26(金)～6/1(木)



『ハッピー・マニア』
全11巻
6/2(金)～4(日)



『孔雀王』シリーズ
全40巻
6/9(金)～10(土)



『あした天気になあれ』
全58巻
6/16(金)～18(日)



『きまぐれオレンジ☆ロード』
全20巻
6/23(金)～25(日)



『ブラック・エンジェルス』
全20巻
6/30(金)～7/2(日)

1 第1四半期 業績

2 第1四半期 施策・トピックス

3 今後の計画

4 参考資料

3 今後の計画 | 中期目標の修正

2016年度のヤフーとの資本業務提携を契機に、中期目標を修正

2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
------	------	------	------	------	------	------



「電子×コミック」の軸は変更せず、ターゲットを国内に集中

2015年3月発表
中期目標

世界の主要言語圏に、
日本マンガを
電子で届ける



日本発の電子書籍
グローバル売上No.1

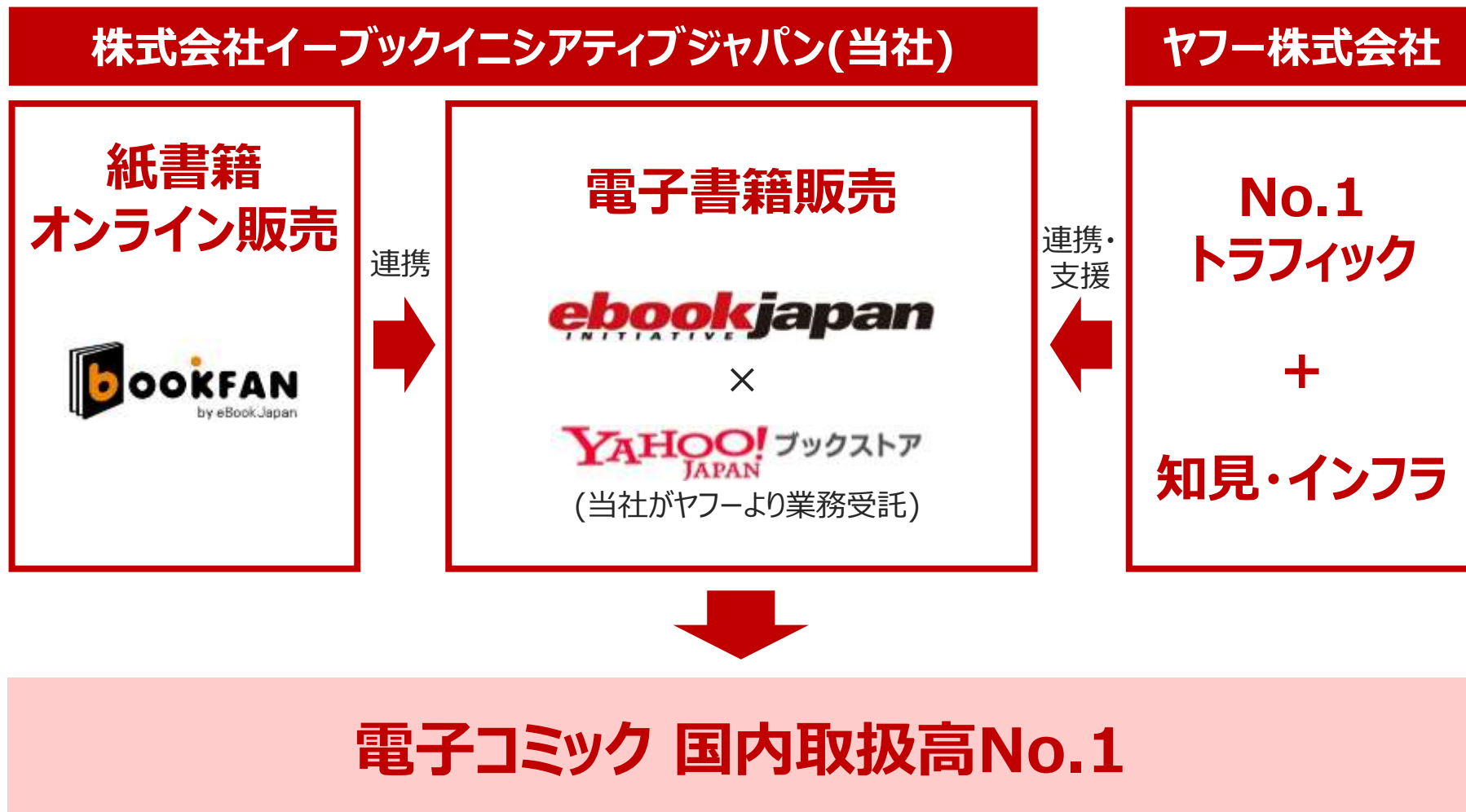


2017年4月修正
中期目標

電子コミック
国内取扱高No.1

3 今後の計画 | 2017年度以降の事業展開

ヤフーのバックアップを受けつつ、電子コミックのサービスを飛躍的に発展させる

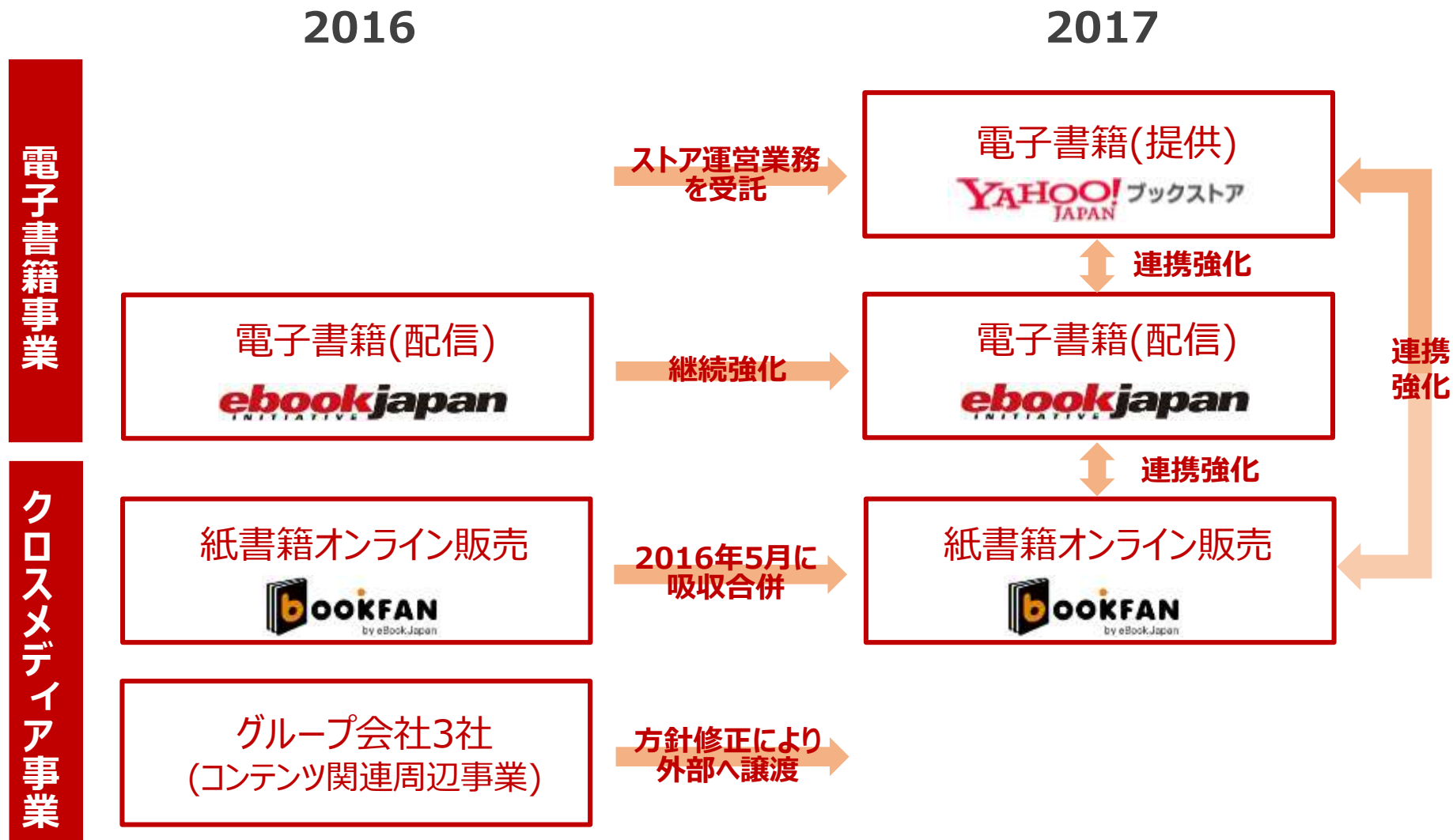


電子書籍のリーディングカンパニーとして
日本の貴重な出版資産を
手軽な形で、世界中の皆さまの手元に届けるとともに
地球環境保護にも寄与する



3 今後の計画 | 2017年度 事業方針

書籍事業に経営資源を集中し、ヤフーのストア運営業務も含めた既存事業の更なる成長と、事業間のシナジーを強化



(単位：百万円)

	2016年度 連結実績 ※14ヵ月	2017年度 連結予想 ※12ヵ月	増減率
売上高	11,982	10,500	△12.4%
営業利益	17	200	+1,072.5%
営業利益率	0.1%	1.9%	—
経常利益	14	200	+1,261.3%
経常利益率	0.1%	1.9%	—
税引前当期純利益	△33	200	—
親会社株主に帰属する当期純利益	11	125	+1,007.2%

**売上高10,500百万円、経常利益200百万円での着地を想定
(12ヵ月換算では実質増収増益)**

1 第1四半期 業績

2 第1四半期 施策・トピックス

3 今後の計画

4 参考資料

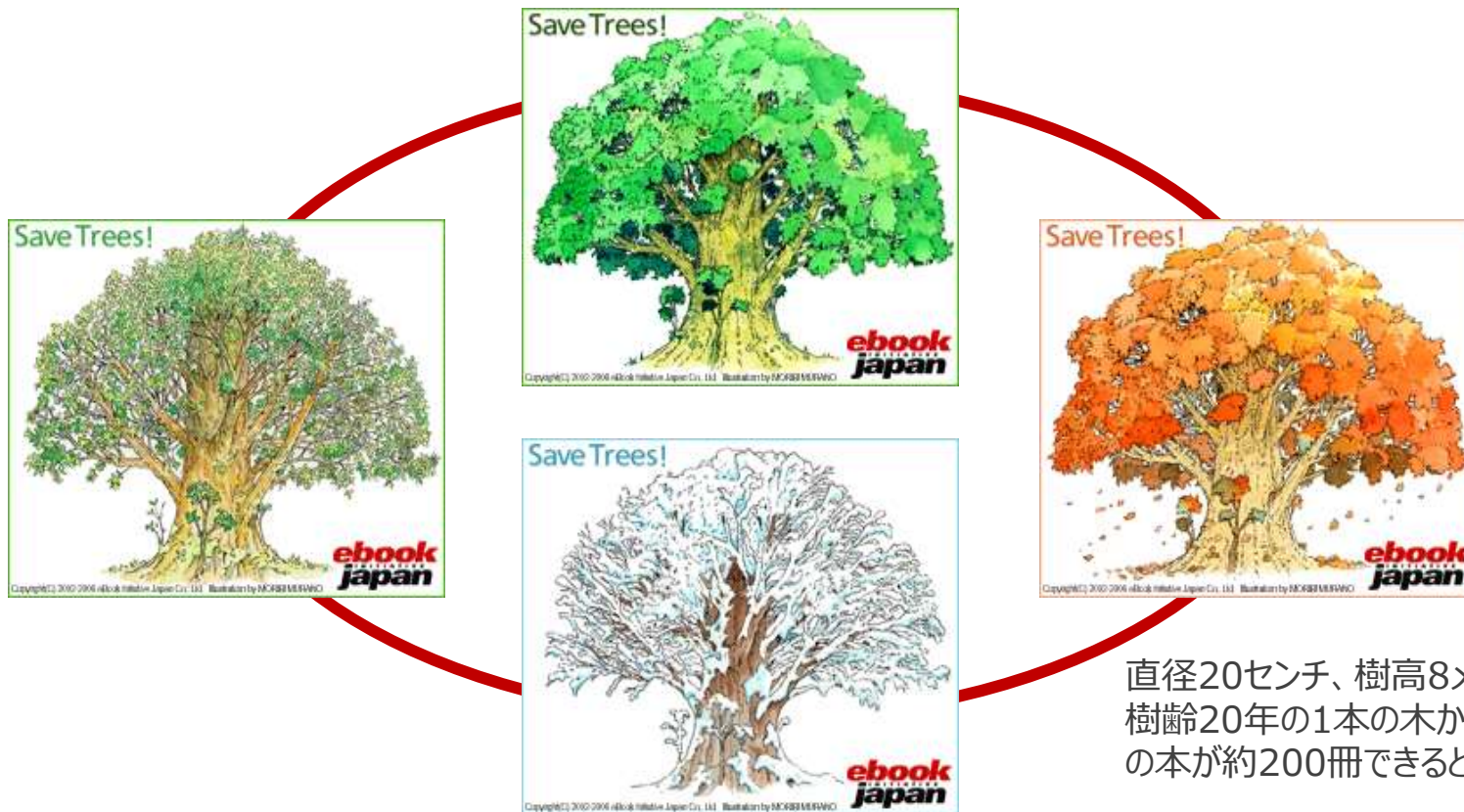
株式会社イーブックイニシアティブジャパン
eBOOK Initiative Japan Co., Ltd.

(単体)

項目	内容
設立	2000年5月17日
本社	東京都千代田区神田駿河台2-9 KDX御茶ノ水ビル 代表電話：03-3518-9544
マザーズ上場日	2011年10月28日（証券コード：3658）
市場第一部上場日	2013年10月28日（証券コード：3658）
事業内容	電子書籍事業（電子書籍配信、電子書籍提供）、クロスメディア事業
代表者	代表取締役社長 小出 斉
資本金	848,004千円（2017年6月末日現在）
決算期	3月31日
主要取引先	出版社、編集プロダクション、決済代行会社、システム開発会社、 ISP、ポータル、キャリア、デバイスメーカー
役職員数	193名（2017年6月末日現在）
ウェブサイト	http://www.ebookjapan.jp/e bj/

4 参考資料 | 創業理念 : Save Trees!

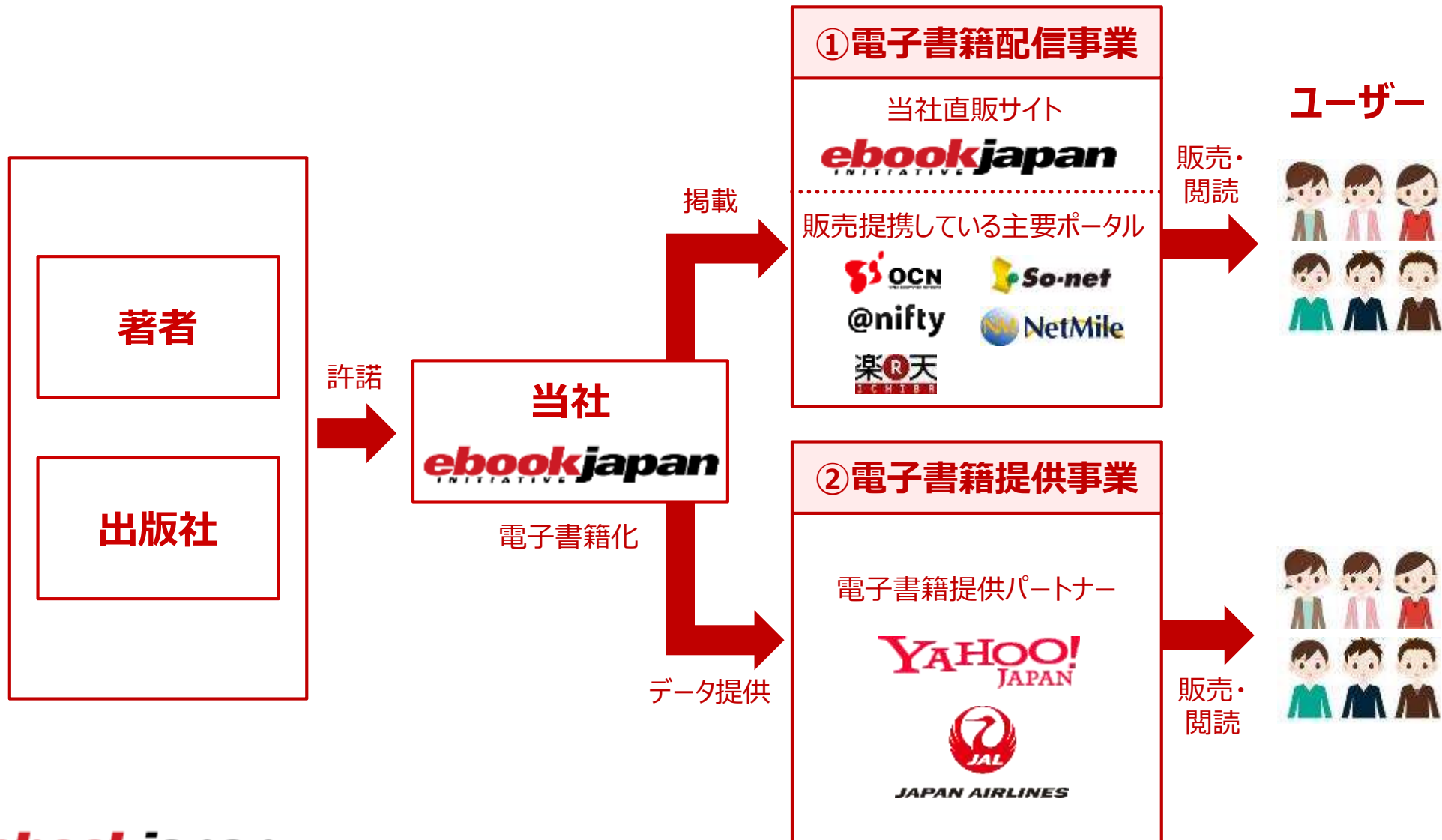
創業者が出版社勤務時代に、大量の返本の山が断裁・焼却処分されることに地球環境への危惧を抱いたことが、当社の創業に至ったきっかけです



直径20センチ、樹高8メートルに育った、樹齢20年の1本の木から、1冊300グラムの本が約200冊できるといわれます

当社はこれまで16年間で累計8,300万冊以上の電子書籍を販売し、41万本以上の木を救ってまいりました。

著者/出版社から許諾を受けた作品を電子書籍化し、直販、または協力各社を通じてユーザーに販売



品揃え

- ・マンガの品揃えが世界最大級
 - 約20.9万冊*1
- ・電子書籍作品総数でも業界トップクラスの約58.9万冊*1
 - 雑誌、児童書、学術書も拡充
- ・紙書籍・雑誌が購入可能に！

使い易さ

- ・背表紙表示や蔵書のフォルダー管理
- ・マンガ好きも納得の高画質フォーマット
- ・即読みダウンロード対応
- ・ブラウザでも、オフライン（アプリ）でも読める
- ・多くの支払い手段に対応

サービス

- ・まとめ買い機能で簡単に“大人買い”
- ・新刊オート便で一番に読める
- ・著名人やスタッフによるレビュー
- ・趣向を凝らした様々な特集企画
- ・パートナー企業に書店機能を“まるごと”提供可能

4 参考資料 | 当社の強み①：品揃え

定番の名作から新作まで、58.9万冊以上*1の電子書籍ラインナップ

	~1990's	2000's	2010's
男性マンガ			
女性マンガ			
その他			

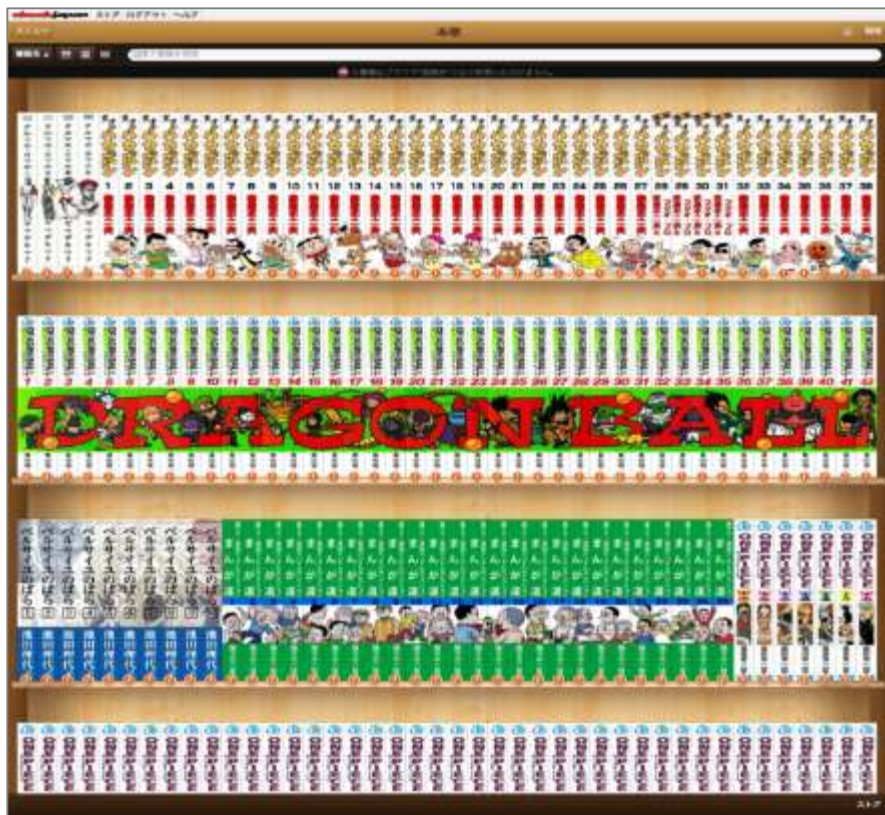
世界最大級の品揃え
マンガ取扱冊数
20.9万冊超

4 参考資料 | 当社の強み②：使い易さ

読書好きが集まっているからこそ、ユーザーの視点に立った蒐集欲をかき立てるサービス

好みに合わせて、お気に入りの表示モードが選択可能

背表紙表示モード



サムネイル表示モード



リスト表示モード



- ✓ 購入した電子書籍は、電子書籍閲覧ソフトやネット上のクラウド本棚に保管できます。
- ✓ 背表紙表示、サムネイル表示、リスト表示と利用者の好みに応じて表示形式の変更が可能です。
- ✓ 特に背表紙表示は、蒐集欲をかき立てるデザインとなっています。

4 参考資料 | 当社の強み③：サービス

まとめ買いでお得に購入

単巻毎に購入（多くの電子書店の場合）



37回購入手続きが必要

まとめ買い（当社の場合）



1回クリックするだけ！！

まとめ買いの場合は、ポイントアップでさらにお得！

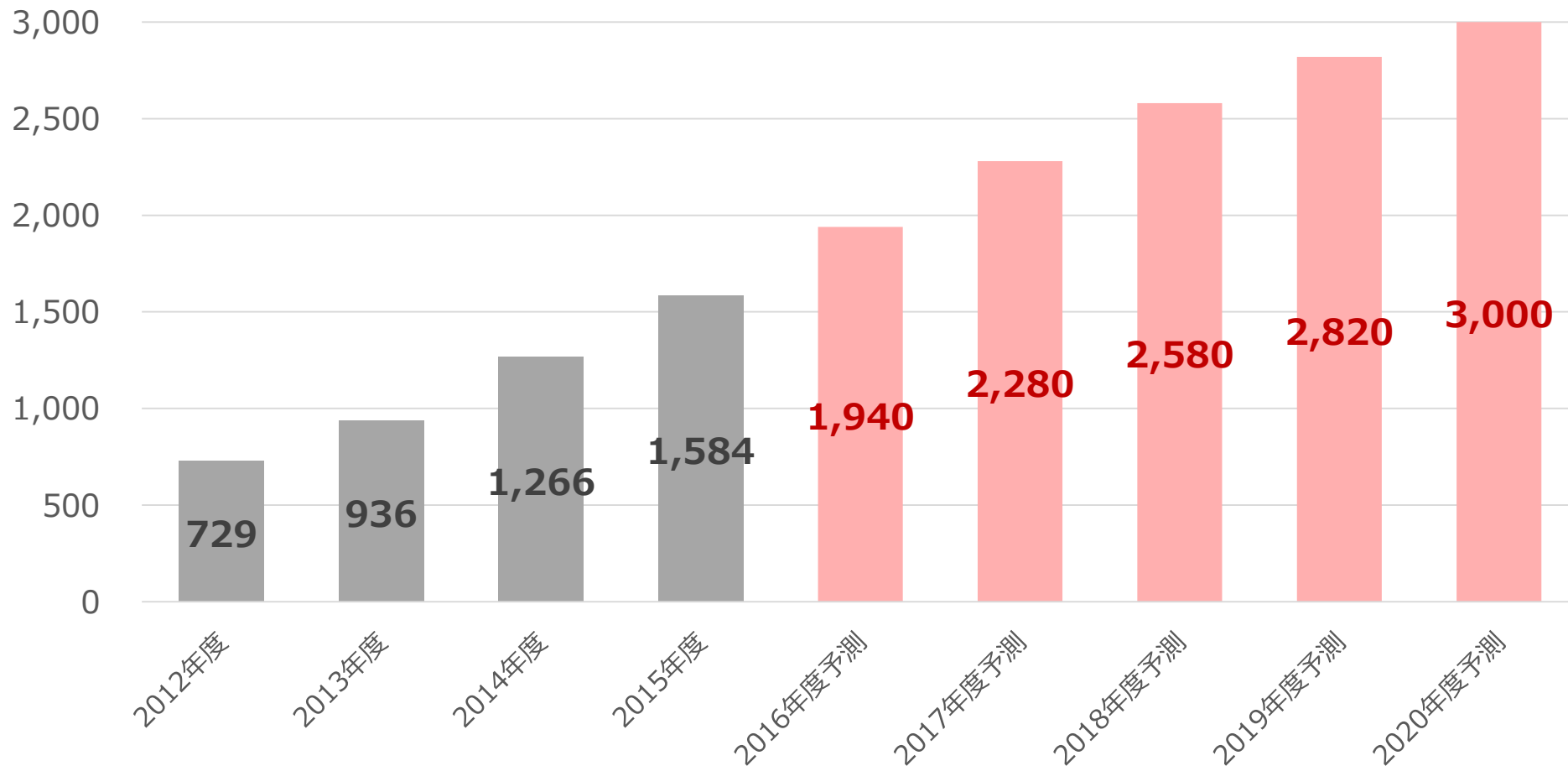
まとめ買いサービスの充実により、購入者の1人当たり月額平均購入額5,000円を実現！

4 参考資料 | 電子書籍業界の市場規模

電子書籍の市場規模は今後も順調に拡大し、5年後には3,000億円にまで成長する見込み

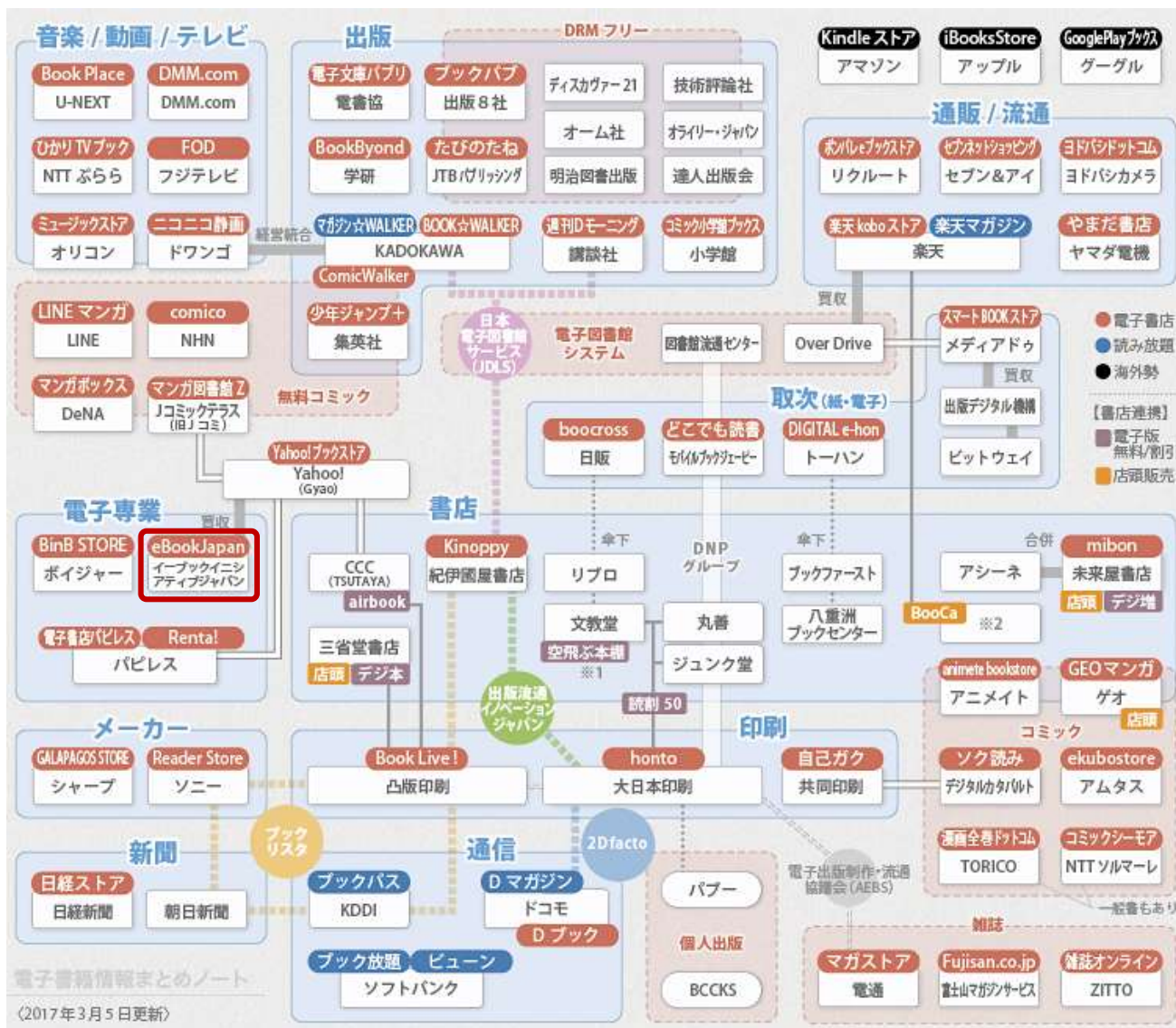
(単位：億円)

電子書籍市場予測



4 参考資料 | 競争環境

様々な領域から新たなプレイヤーが参入



- 本資料は、これまでの業績および事業計画に関する情報の提供を目的として、当社が作成したものです。
- 本資料に掲載されている将来の見通し、その他今後の予測・戦略などに関する情報は、本資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲で判断したものであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は様々な要因の変化等により、本資料記載の見通しとは異なる結果を生じる可能性があります。
- 投資に際しては、当社が公表している各種資料およびホームページ、またEDINETに開示している情報をご覧いただいた上で、投資家ご自身の判断でなされるよう、お願い致します。
- なお、本資料は電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送・転載等はできません。